指導計画　家庭科　第6学年　題材名「思いを形にして生活を豊かに」（全14時間計画）

目標	・布を用いたマイバッグの製作を通して、ミシン縫いについての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、衣生活をより豊かにしようと工夫する実践的態度を育成する。
評価規準	（1）・マイバッグの製作に必要な材料や手順、ゆとりの必要性とその見積もり方を理解している。 ・ミシン縫いによる縫い方、用具の安全な使い方について理解し、適切にできる。　（知識・技能） （2）マイバッグの製作についての課題を見つけ、その解決に向けた製作計画を考え、実践を評価改善し、製作計画や製作したことを表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。 （思考・判断・表現） （3）生活の中にある布を用いた物に関心をもち、マイバッグの製作について主体的に取り組んだり振り返って改善したりして、衣生活を工夫し、実践しようとしている。　（主体的に学習に取り組む態度）

過程	時間	○ねらい　めあて ・主な学習活動	☆振り返り （意識）	◇評価項目　〈方法・観点〉 知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
つかむ	1	1「題材の課題」を設定する。 ○日常生活での袋物の活用について振り返って問題を見いだし、題材を通した学習課題と製作計画【作りたいバッグの形や機能を決める、布の用意、裁断、縫う順序等】を立てる活動を通して、これからの学習への意欲をもたせる。 学習課題を立て、見通しをもとう ・袋が活用されている生活場面を振り返らせる。 ・どんな袋があったら使いやすいか考えさせる。 ＜題材の課題＞ 自分の思いを形にした使いやすいマイバッグを製作するにはどうしたらよいか。	☆移動教室の時に便利なマイバッグを作りたい。 ☆布製だから汚れたら気軽に洗濯できてうれしい。 ☆自分の考えたマイバッグを最後まであきらめずに完成させたい。 ☆どんな順番で縫えばよいか知りたい。		◇使いやすく、自分の生活を快適にするためのマイバッグの製作について問題を見出して、課題を設定している。 【思・判・表】 ＜ワークシート・観察＞	
追究する	1	2「題材の課題」の解決に必要な知識及び技能を習得するための実践的・体験的な活動をする。 ○製作計画を作成させる。 自分が作りたいマイバックを考えよう ・自分の実習計画を立てたあと、グループで計画について意見交流し、計画を見直す。 ○紙や不織布などを使って、形や大きさなどを考えながら、試し作りを通してゆとりの必要性について理解させる。 検討の視点： 自分の作りたいバッグの大きさを考え、ゆとりや縫い代を決めているか。	☆本バッグにするのに、ちょうどよい大きさにしたいな。 ☆たくさん入れられる丈夫なバッグにしたい。 ☆使いやすくするには、持ち手の長さをどのくらいにしたらよいのだろう。 ☆ゆとりがあると、中の物を出し入れしやすく使いやすくなることが分かった。 ☆ゆとりだけでなく、	◇ゆとりや縫い代の必要性や製作に必要な材料・用具・製作手順を理解している。 【知識・技能】 ＜観察・ワークシート＞	◇必要な材料や用具を考え、製作計画を立てている。 【思・判・表】 ＜観察・ワークシート＞	

			まちや縫い代のことも考えなくてはいけないことが分かった。			
	1	○持ち手やポケットの付け方を考えさせる。 使いやすい持ち手やポケットを考えよう ・持ち手の長さを考えたり、ポケットの大きさ、位置など、使いやすくするための工夫を考える。 ・ポケットの有無は個々に決める。	☆肩にかけられるように持ち手を長くした。 ☆物がすぐ取り出せるようにポケットは外側に付けることにした。 ☆内側にポケットを付けるには、どの順番で縫ったらいいのか分かった。	◇持ち手やポケットの付け方を理解している。 【知識･技能】 ＜観察･作品＞		
追究する	1	○製作手順を確認させる。 製作手順を整理しよう ・児童の実態に応じて、型紙が必要な場合は作成する。	☆マイバッグの製作手順は、わき、出し入れ口、持ち手の順に縫い、使いやすいポケットの位置を考えられた。			
	2	3　製作をする。 製作計画に沿って、安全に製作しよう ・実習カードに進度状　況や友達からのアドバイス、振り返りを記録する。 ・作品見本や段階標本を参考にできるように提示しておく。 ・必要に応じた教え合いやアドバイスなどの交流ができるようにグループを作る。 ○仕上がりの大きさに気を付けて印を付けさせる。 型紙を使ってしるしをつけ、布を裁とう	☆ゆとりを考えて自分の作りたいバッグの大きさを決めることができた。 ☆縫い代に気を付け、印を付けることができた。			◇マイバッグの製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 【主体的に学ぶ態度】 ＜観察･ワークシート＞
	1	○丈夫な縫い方でポケットを付けさせる。 使いやすい位置にポケットを付けよう ・ポケットを付ける位置や大きさ、布の種類を考えて付ける。	☆ポケットを丈夫に付けるために、出し入れ口を三角に縫えた。	◇ミシンの安全な取り扱い方が分かり、適切にできる。 【知識･技能】 ＜観察･実習･ワークシート＞		
	2	○ほつれないように返し縫いをしてまっすぐに縫うようにさせる。 まっすぐにわきを縫おう ・ほつれないように布端の始末について気を付ける。	☆ミシンの押さえを目印にしたらまっすぐ縫えた。	◇マイバッグの縫い方を理解し、適切にできる。 ・ポケットの付け方 ・布端の始末の仕方 ・出し入れ口の縫い方		

追究する	1	○ほつれないように出し入れ口を三つ折りにして、端を縫うようにさせる。 ほつれないように出し入れ口を縫おう ・ずれないようにしつけをして縫う。	☆ほつれないためには、出し入れ口は三つ折りがよいことが分かった。	・持ち手の付け方 【知識･技能】 ＜実習･観察･作品･ワークシート＞		
	1	○持ち手を付ける位置を確かめて、正しい位置に丈夫な持ち手を付けることができるようにさせる。 丈夫に持ち手を縫い付けよう ・平ひもを付けると厚みが出るので、縫い方に気を付ける。	☆持ち手を丈夫にするためには２度縫いをすると良いことが分かった。			
	2	○糸の始末やアイロン掛けをして完成させる。 マイバッグを完成させよう ・フェルトを使ったアップリケや刺しゅうなど、自分なりの飾りを考える。	☆フェルトを使ってオリジナルの飾りを付けることができた。 ☆マチを付けて物がたくさん入るようにした。			◇マイバッグの製作について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 【主体的に学ぶ態度】 ＜ワークシート･観察＞
まとめる	1	４「題材の課題」の解決についてまとめたり、振り返ったりする。 ○製作を通して学んだことや製作したマイバッグを実際に使用して振り返り、袋物製作についてまとめ、今後の自分の生活に生かすことができるような工夫や応用の仕方を考えさせる。 実践発表会をして、マイバッグの作り方をまとめて、これからの生活に生かそう ・実践発表会をする。	☆製作手順や縫い方が分かったので、ほかのバッグも作ってみたい。 ☆布製品を買うとき、布の材質や丈夫な縫い方かどうかなどを確認してから買いたい。 ☆肩にかけられるように持ち手の長さを長くしたからとても使いやすい。 ☆家族から、ポケットが使いやすそうだと言ってもらった。 ☆家の人にマチがあるからたくさんものを入れられそうだとほめてもらった。		◇作品の使用感や友達の作品から、自分の実践を評価したり改善したりしている。 【思･判･表】 ＜発表･ワークシート＞ ◇マイバッグの製作についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。 【思･判･表】 ＜発表･ワークシート＞	◇マイバッグの製作について、工夫し、実践しようとしている。 【主体的に学ぶ態度】 ＜発表･ワークシート＞